

## 都道府県名：和歌山県 団体名：南紀用水土地改良区

### 地域

南紀用水土地改良区が農業用水を供給している和歌山県田辺市、みなべ町にまたがる地域は和歌山県のほぼ中央に位置し、二級河川南部川沿いに広がる農業地帯で、風光明媚な梅の郷として知られています。

### 経緯

平成元年 国県営事業の推進母体、及び施設の維持管理を行うため、南部川右岸土地改良区として設立

平成4年 南紀用水土地改良区に名称変更

### 功績内容

○二級河川南部川及び島ノ瀬ダムを水源とする約1,800haの農地に農業用水を安定供給することを通じて、南高梅に代表される良質な梅やかんきつ類・野菜・花の生産に寄与しています。  
○島ノ瀬ダム周辺への桜の植栽に取り組むとともに、毎年春にはダム湖畔に鯉のぼりを設置するなど水辺の景観づくりに取り組み、今では桜の名所として県内外からたくさんの方が訪れる観光資源となっています。

○近隣の小学校を対象に水の大切さや環境保全についての社会学習を実践しています。

○平成22年度からは低炭素社会の実現に向け、ダム貯水を活用した小水力発電の導入に取り組み、平成24年度から発電運用を開始しました。平成28年度には81.4万kWhを発電し、年間のCO2削減効果は452トンにも及びました。



ダム周辺に植栽された桜



毎年春に設置される鯉のぼり



地域の児童を対象とした体験学習会



平成24年度に運用を開始した小水力発電施設